

精神保健福祉

みやざき



精神保健福祉

みやざき



この広報紙は赤い羽根募金の配分を受けて発行しています。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

再生紙を使用しています



宮崎県精神保健福祉連絡協議会

55

2015

表紙説明

「ルピナス」

(新富町 提供)

「青いＴシャツ」に込められた願い



この青いＴシャツ（愛称：青Ｔ）には、
人知れずいつもたった一人ぼっちで悩み続ける方に向けて、
隣にいる誰でもかまわないから 何時でもかまわないから 少しだけでもかまわないから
「ひとりで悩まないで 誰かに話してみませんか」
というメッセージが込められています。



さまざまな悩みや心配事、心の病気などを抱えている方のために、相談窓口や
生きがいづくりの場などを案内する宮崎県民向け情報サイトです。
ホームページアドレス <http://www.m-aot.net>

精神保健福祉みやざき（第55号）

平成27年10月発行

編集発行 宮崎県精神保健福祉連絡協議会

〒880-0032 宮崎市霧島1-1-2

TEL 0985-27-5663

FAX 0985-27-5276

印刷製本 有限会社 K・I印刷

〒880-0056 宮崎市神宮東3-6-19

TEL 0985-65-4024

編集委員会 委員名簿

中央保健所健康づくり課	主任保健師	井 手 香
日南保健所健康づくり課	技 師	大 迫 亜 理
都城保健所健康づくり課	技 師	瀬 尾 彩
小林保健所健康づくり課	技 師	宮 田 弥 佳
高鍋保健所健康づくり課	主任技師	岩 田 恵美子
日向保健所健康づくり課	主任保健師	上 原 千 枝
延岡保健所健康づくり課	技 師	橋 本 茉 実
高千穂保健所健康づくり課	技 師	原 田 七 生
精神保健福祉センター	副 所 長	瀬戸口 康 成
	主幹兼主任	杉 田 周士郎
	主 査	永 田 奈津子

障害福祉計画と障害年金

宮崎県精神保健福祉連絡協議会
会 長 高 宮 眞 樹

障害者総合支援法に係る国の基本方針（平成26年5月厚労省告示）をふまえて、県は平成27年から平成29年までの第4期障がい福祉計画を策定しています。その中に精神科入院医療に係るものがあり、紹介しておきます。

	国の目標指針	県の現況値	県の目標値設定
①入院後3ヶ月時点の退院率	64%以上	58%	64%
②入院後1年時点の退院率	91%以上	83.1%	91%
③1年以上の長期在院者の減少	平成24年6月末時点から 18%以上	24年6月末時点で3548人	30年3月末時点で2909人 (3548人の18%減)

表を見てわかる様に国の目標指針と県の現況値には大きな差が存在します。国の目標値の積算根拠は全国の上位3県の平均値なので、この差はあきらかでしょう。県によってその精神科医療体制や地域の受け皿は均一ではありません。ましてや宮崎県はいまだにその後方に位置しているといっても過言ではありません。もちろん入院の長期化を防止するとともに、疾病や障害の程度そして地域の受け皿等の条件が整えば退院可能な長期入院者の地域移行をすすめることは大切なことであります。しかし、無理をしてはいけません。

小生の様な一昔前の古い精神科医からしてみると、最近の精神科入院医療のスピードにはついてゆけません。救急・急性期とかで3ヶ月以内の退院を求められており、私の所属している病院でも急性期治療病棟の日常業務をみていると大変な忙しさであります。平成26年度に当病院に入院された322名中218名が当該病棟に入院されており、そのうち退院された206名の平均在院日数は57日でした。そして322名の3ヶ月時点での退院率は63.4%でありました。これ以上の数字を求められても大変なことです。再び、無理はできません。

次に障害基礎年金の認定に都道府県によって差があり、不支給率が最大24.4%（大分県）と最少4.0%（栃木県）で6倍になっているとのことで、しかも申請数の67%を占める精神・知的の不支給率に影響されているとのことでした。今後、不支給率の格差是正を目指して認定指針を定めることが検討されるとのことでした（7月3日、読売新聞）。更に認定業務を各都道府県毎に実施する方式から地区（例えば九州なら福岡県）毎に実施する方式も検討されるとのことです。宮崎県の不支給率は7.3%で九州では最少でしたが、今後の推移から目が離せません。医療・福祉に係ることを全国で均一化することにこだわる必要はないと思いますが、いかがでしょうか。

目 次

巻 頭 言 障害福祉計画と障害年金

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会長 高宮 眞樹	1
-------------------------	---

第54回 宮崎県精神保健福祉大会（平成26年度開催）

『つながる支援 地域に根付く思いやり 地域にひろがる理解の輪』	4
---------------------------------	---

精神保健福祉事業功労者（平成26年度）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰（個人5名）	5
--------------------------	---

表彰受賞者の声（平成26年度）

ハートピア細見クリニック	松 田 ヒトミ（宮 崎 市）	7
串間市社会福祉協議会	津 曲 朋 子（串 間 市）	8
なのはな村	藤 崎 芳 洋（都 城 市）	9
えびの福祉作業所	鬼 脇 千代子（えびの市）	10
三味線ボランティア	鈴 木 紀代子（延 岡 市）	11

第14回宮崎県障がい者スポーツ大会の結果について

	12
--	----

第14回宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して

野崎病院ディケア 虹の丘	13
谷口病院 オーシャンズ	14
川南町精神障害者福祉会 のぞみ会	15

各地域精神保健福祉協議会の動き

宮崎地域精神保健福祉協議会	16
日南串間地域精神保健福祉協議会	17
都城北諸地域精神保健福祉協議会	18
西諸地域精神保健福祉協議会	19
西都児湯地域精神保健福祉協議会	20
日向入郷地域精神保健福祉協議会	21
延岡地域精神保健福祉協議会	22
西臼杵地域精神保健福祉協議会	23

精神障がい者支援組織・グループの動き

特定非営利活動法人宮崎県精神福祉連合会	24
宮崎県断酒友の会	25
ルピナス倶楽部	26

障がい者の就労促進等に取り組む事業所

社会福祉法人サンスマイル福祉会（就労継続支援B型事業所）	27
社会福祉法人大樹会 Social Work 日南 南国の丘 （就労継続支援A型・B型事業所）	27
社会福祉法人陽気会 サニーサイド宮崎（就労継続支援B型事業所）	28
Next みらい新富事業所（就労継続支援A型事業所）	29
株式会社東九とうきゅう農園（就労継続支援B型事業所）	30
特定非営利活動法人のべおか城昇会 大瀬作業所（就労継続支援B型事業所）	31
福祉作業所 日融工房（就労継続支援B型事業所）	32

宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

平成26年度事業実績	33
平成27年度事業計画	34
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿	38
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿	39

第54回 宮崎県精神保健福祉大会

テーマ： つながる支援 地域に根付く思いやり 地域にひろがる理解の輪

1 開催日時 平成26年10月17日（金）

2 場 所 小林市文化会館

3 参加人数 600名

4 大会内容

(1)アトラクション 狭野神楽



(2)式典（表彰）

宮崎県知事表彰	6名、1団体
宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰	5名
宮崎県精神科病院協会会長表彰	13名

(3)体験発表

「私の人生」山口章太（都城市）

「今の私」中山和昭（小林市）

「地域とつながるコーヒータイム」

徳持和浩 寺田妙子 重留哲郎 徳丸玲子（えびの市）

「高校時代から現在までの我が子をみつめて」徳持ナリ子（えびの市）

(4)特別講演 演題「だれもが支援のパートナー」

講師 社会福祉法人JHC板橋会理事長 寺谷 隆子氏

(5)展示・販売コーナー



宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰（平成26年度）

氏 名	住 所	所属・職種	功 績 概 要
まつだ 松田ヒトミ	宮 崎 市	医療法人 ハートピア細 見クリニック 理事・事務長	平成14年以降、地域で生活する認知症患者とその家族を支える地域づくりを推進するため、県内各地での講演活動や新聞・テレビ・ラジオを通じた啓発など、精力的に様々な活動を行っている。また、若年性認知症や回想法等の研修会の立案、学会活動等を行い、一般市民や関係機関を巻き込んだ地域ぐるみの活動を行っている。 平成20年に、宮崎県認知症ケア専門士会を、専門士一人ひとりに根気よく声かけを行って立ち上げ、認知症患者と家族を取り巻く保健・医療・福祉の様々な関係機関と連携しながら、地域の人材育成とネットワークづくりを進めている。
つまがり ともこ 津曲 朋子	串 間 市	串間市社会福 祉協議会 「あんしんサ ポートセン ター」 生活支援員	平成17年より地域生活支援センターの社会復帰指導員として、精神障がい者の意志を尊重しながら、悩みに対し適切な助言を行い、本人や家族が地域で安心して生活するための支えとなった。 平成22年以降、支援センター主催の教室講師として、また「あんしんサポートセンター」の生活支援員として、地域生活支援の視点を大切に活動しており、本人や家族のみならず、他の関係機関の職員の信頼も厚い。これまでの経験を活かした熱心な精神保健福祉活動は、後に続く者の模範となるものである。
ふじさき よしひろ 藤崎 芳洋	都 城 市	社会福祉法人 なのはな村 理事長	昭和62年に共同農場「なのはな村」を設立。 「地域の中で、一人ひとりが普通の暮らしや、その人らしい自立した生活が送れるように、生活全般における支援（福祉サービス）を行っていく」という信念の下に、就労移行支援事業、就労継続支援事業（B型）、生活介護支援事業の3事業と地域生活支援事業（日中一時支援）の多機能型事業所として活動している。 精神障がい者の就労支援においては、特に職業訓練に力を入れ、実践で活かされるような能力の開発に向けて、様々な作業が実践できるよう取り組み就労に結びつけている。

氏 名	住 所	所属・職種	功 績 概 要
おにわき ち よ こ 鬼脇千代子	えびの市	NPO法人 えびの福祉 作業所 所長	平成12年の小規模作業所の開設に尽力し、当初から支援員として従事した。現在は所長として、「明るい作業所・頑張る作業所・楽しい作業所」をモットーに、精神障がい者の社会復帰に取り組んでいる。 利用者の多くが知的障がい者で占める中、精神障がい者の支援に力を尽くし、障がいの特性に応じた適切な支援を目指して勉強会を開催した。 また、近年は、地元の精神障がい者当事者の会（ふら〜っと）のレクリエーション活動の場として、陶芸の作業場を提供し作品づくりに協力する等、広く精神障がい者の社会復帰を支援している。
すず き き よ こ 鈴木紀代子	延 岡 市	三味線 ボランティア	延岡市地域活動支援センターみなとにおいて、三味線ボランティアとして利用者に三味線や和楽器を教えている。その成果は、毎年、「こころのコンサート」で、みなとの利用者とともに、素敵な演奏で発表している。 全員が楽しめるように、利用者の気持ちを考えながら教えることをモットーとしており、利用者が分かりやすいように三味線符を手書きし、皆が知っている曲の演奏に取り組めるように工夫している。 ひかり工房（就労継続支援B型事業所）でもボランティアをしている。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を受賞して

医療法人ハートピア細見クリニック 松田ヒトミ

精神保健の分野での仕事はまだ10数年の私ですが、このような栄えある賞を頂いたことに少なからず戸惑いを覚えています。

私は2002年9月のハートピア細見クリニックの開院時に、事務長として勤務しました。クリニックのスタッフは現在、常勤17名、非常勤5名の計22名ですが、開院当初は現在の約半数であり、事務長として専門知識の習得は必須であると考え、院長の許可をもらって通信制の大学院と専門学校に入学し、精神保健福祉士、社会福祉士の資格を取得しました。また、認知症ケア



を学ぶためにクリニックからスウェーデンに研修に派遣していただき、そこで認知症ケアの奥の深さを知ることができました。その後、日本認知症ケア学会認定の認知症ケア専門士の資格を取得し、宮崎県内の認知症ケア専門士に呼びかけて2008年9月に宮崎県認知症ケア専門士会を立ち上げることができました。また、回想法をはじめとしてタクティールケア、パーソンセンタードケアを普及させるために我が国の第一人者の先生方に連絡を取り、本県に招聘して講演会やワークショップを企画開催して参りました。

学会活動ではクリニックの取り組みを日本認知症ケア学会や日本認知症予防学会で報告し、米国ニューオーリンズで開催された国際回想法・ライフレビュー学会でも報告させていただきました。

この数年は県内外から私自身が講師として招聘されることが多くなり、要請があれば積極的に出向くことにしています。

また、2008年4月からは、一般社団法人宮崎県精神科診療所協会の事務局長として会の運営に係わらせていただき、2011年4月から2014年3月までは、宮崎県介護認定審査委員として介護保険の運用に関しても微力ではありますが協力させていただきました。

私としてはクリニックのために動いていたつもりでしたが、このような活動を宮崎県精神保健福祉連絡協議会として高く評価していただいたことに感謝申し上げます。

今後とも益々精進し、本県の精神保健福祉の向上に少しでも寄与できればと考えています。



串間市社会福祉協議会
「あんしんサポートセンター」
生活支援員 津曲 朋子（串間市）

早く出来るように支援していきたいと思っています。

今回の受賞に対しては、施設長、職員の皆様の御協力があったからだと本当にありがとうございました。

この度、第54回宮崎県精神保健福祉大会において宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を頂き深く感謝致します。

振り返ってみますと、障がい者との接し方も良く分からないまま、平成17年10月より、地域生活支援センターWingにおいて、社会復帰指導員としての役割を担うことになりました。この地域においては初めての施設で大変でしたが、利用者さんや家族の方々に支えられながら色々学ばせて頂きました。

その間、支援センターのプログラムでもある料理教室、和紙工芸、スポーツ等のレクリエーションを通して、地域で生活する利用者さんの気持ちも理解出来るようになり、地域の人達との付き合いも上手く出来るようになりました。

現在は、串間市社会福祉協議会「あんしんサポート」の支援員として活動していますが、前センターでの対応の仕方、信頼関係づくりなど体験を通してやれる自信がついてきました。

これからも、当事者の自立、社会復帰が少しでも

社会福祉法人なのはな村 藤崎 芳洋

「宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰」との連絡をいただき、びっくり仰天、思わず我が身を振り返ってしまいました。

学生時代、何となく精神病院看護助手のアルバイトにつきました。正しく「何となく・・・」でしたが、それが精神に障がいのある方との初めての出会いでした。最初は戸惑いが多くありましたが、そのうち「人は、実に奥深い生き物だ。」と、実感するようになりました。

留学先で発症されて、20年以上病院内で暮らしている方。東京に出て来て、頑張っ頑張っ小さな料理屋を営み、それを子供に任せてほっとした途端、発症された方。ぼくと同年齢で薬物中毒となり、発症された方・・・。

この人たちは、閉鎖病棟の中で自分の生を終えるのだろうか。社会の中に、共に暮らしていく場は作れないのだろうか。私は精神病院で、自分の頭で考えることを初めて学んだような気がします。もっとも、「サドー王国の王子様」の妄想に本気で付き合っ、看護師さんに笑われたこともありましたが。今、病院で出会ったすべての方々に、感謝の念を抱いています。

1987年「障がいのある人も、ない人も、共に働き、共に生きる」場を目指して「共働農場なのはな村」を設立。さまざまな障がいのある人が、つながりを求めて集う場となりました。一瞬、孤独を好む性癖があるように思えても、人は人とのつながりを求めています。それを精神に障がいのある方を含めて、障がいのある方々に学ばさせていただきました。

現在は社会福祉法人として、障がいのある方々が地域で生活することがあたりまえになるように、グループホームも併設しました。勿論、精神に障がいのある方もホームで生活されています。私が補助看護師であった頃と比べて、随分と地域で生活される精神に障がいのある方が増えてきたのは事実ですが、まだまだ偏見の直中にいらっしゃるの誰かが認める事実だと思います。

ということで、私はまだ学ばせて頂いている途中なので、表彰に値する人間ではないとお伝えしようとしたところ、それを聞きつけた精神保健福祉士である先輩から、お叱りの電話をいただきました。「世の中の偏見を取り除くために、この表彰はあるの。あなたが表彰されるんじゃないの。」

そうでしたか。精神に障がいのある方と共に生きていこうと思う人間の一人として、そう思う人が一人でも増えていくことを願っ、有難くいただくことにしました。ありがとうございました。



受賞者の声

えびの福祉作業所 所長 鬼脇千代子

この度は、宮崎県精神保健福祉連絡協議会の表彰をいただき、深く感謝します。
思い起こせば、平成12年、知的障がい者を対象に小規模作業所を立ち上げて2年目を迎えた頃、精神障がい者の家族の方が受け入れてほしいとの相談がありました。当時は、障がい者福祉施設はえびの地区にはなく、近くでの活動を希望されていました。私共も自分たちのことで精一杯で、精神障がい者の方々との接点もほとんどなかったため、一緒に活動していけるのか正直なところ不安でした。しかし、障がいを持っている子どもたちも、生まれ育った自分たちの住み慣れた地域で幸せに暮らしてほしいという親の気持ちに変わりはなく、ともに手を取り合い活動をするようになりました。

もちろん、当初は、いろんな場面で意見の食い違いや感情のぶつかり合いもありましたが、スタッフを含め、お互い理解しあうようになりました。今までのそれぞれの障がいに対する思い込みを解消し、勉強会を重ね、自らも成長することができたことに感謝しています。

特別にこれといった活動をしてきたという実感はなく、今回の受賞は、改めて支えてくださった地域の方々への感謝の気持ちと私共の励みにもなりました。

また、これからも、家族会の方々とのふれあいを大事にし、当事者や家族の思いを受け止め、積極的に関わり、いろいろな活動・体験をして学んでいきたいと思っております。一方では、地域移行が進められる中で課題は山積みですが、関係機関と連携をとり、出来ることから皆さんと共に、ひとつひとつ乗り越えていきたいと思っております。



三味線ボランティア（延岡市）鈴木紀代子

此の度は、第54回宮崎県精神保健福祉大会（小林市）において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会長様から身に余る立派な賞をいただき大変驚きました。思ってもいなかった賞でしたので、唯々びっくり、私のような者でも良かったのでしょうか？という気持ちでいっぱいでした。私の仕事は、三味線を人様に教えることでしたが、平成19年、精神的なストレスから耳が聞こえなくなり、三味線の生徒や仕事をすべて失いました。障害者手帳を持つ身になり、生きていく望みも絶たれ、死ぬことしか頭にありませんでした。この辛い時期にふと思い直し、何か人の為になることはないかと、自分の足で、あちこちの施設にお願いに上がりました。その1つが延岡市地域活動支援センター「みなと」で、太田尾センター長に気持ちよく引き受けていただき夢のようでした。

「みなと」のスタッフの方々や「みなと」に見えている皆様と知り合えて、約4年余になります。今は三味線を通じて、唄や太鼓で楽しく明るく一生懸命頑張っております。「難聴で三味線が弾けるの？」不思議なんですね。それが分かるんですね。音は心の中にあります。気持ちが通じて、信じ合えばどんな困難でも乗り越えられます。「みなと」の先生方、また、皆様方の一生懸命な姿を見て、私も救われ、元気づけられ、見習うことがたくさんありました。私も命ある限り努力をして、頑張ってまいりますのでよろしくお願い致します。この賞を宝物に致します。有難うございました。



第14回（平成27年度）宮崎県障がい者スポーツ大会の結果について

第15回全国障害者スポーツ大会（和歌山県）九州地区予選会（バレーボール競技：精神の部）報告

第14回（平成27年度） 宮崎県障がい者スポーツ大会

第14回宮崎県障がい者スポーツ大会は、県内各地より1,612名の選手が参加して開催されました。

障がい者スポーツの祭典であるこの大会は、スポーツを通じて障がい者相互の交流を図り、障がい者の社会参加を推進するとともに、県民の障がいに対する理解を深めることを目的としています。

大会当日は天候に恵まれ、各会場で熱戦が繰り広げられました。

また、会場では、家族や友人など多くの方々から、選手の皆さんへ温かい声援が送られていました。

- 〔期日〕平成27年5月10日（日）
- 〔場所〕宮崎県総合運動公園
- 〔選手〕1,612名のうち、
精神障がい者323名
- ミニバレーボール（参加11チーム）優勝
1パート 若草クリニック（宮崎市）
2パート 虹の丘A（宮崎市）
3パート 谷口病院オーシャンズ
（日南市）
- グラウンド・ゴルフ（参加36チーム）優勝
Aコース 内村病院たんぽぽ館
（小林市）
Bコース 憩いの杜A（門川町）
Cコース つきどん（西都市）
- バレーボール（参加2チーム）優勝
江南よしみフェニックス

第15回全国障害者スポーツ大会九州地区 予選会（長崎県・バレーボール競技：精神 の部）

九州地区予選会には、昨年度の宮崎県障がい者スポーツ大会バレーボール競技で優勝した「江南よしみフェニックス」チームが宮崎県代表チームとして出場しました。

九州地区予選会で優勝すると、全国大会（紀の国わかやま大会）への出場権を獲得することになるのですが、優勝したのは福岡県でした。本県は1回戦で大分県に0-2（第1セット16-25、第2セット11-25）と残念ながら敗戦しました。

- 〔期日〕平成27年4月25日（土）
- 〔場所〕佐賀県総合体育館
- 〔対戦成績〕
第1回戦 宮崎県 0-2 大分県



〔ミニバレーボールの様子〕



〔グラウンド・ゴルフの様子〕

「第14回宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して」

一般財団法人 弘潤会 野崎病院 精神科デイケア「虹の丘」

当院精神科デイケア「虹の丘」からは、ミニバレー2チーム、グラウンドゴルフ3チームが出場し、選手、応援あわせて39名の利用者様が参加しました！

チームに分かれて練習をし、苦手な所を意識して練習に取り組んでいました。

キャプテンを中心にコミュニケーションを取りながら団結を図っている様子が見られ、大会前には練習試合の希望が挙がるなど、選手のモチベーションの高い大会となりました！



大会では少し緊張をしていたようですが、選手は練習の成果を精一杯発揮し、応援の方も熱のこもった声援をおくっていました。

大会を終えて、「楽しくプレーできた」、「優勝できず悔しかった…来年はリベンジだ!」、「来年もがんばりたい!」と感想が聞かれました。



結果

ミニバレー

Aチーム：優勝

Bチーム：準優勝

グラウンドゴルフ

Aチーム：準優勝



利用者様がより一層、絆を強めることの出来た大会となりました♪



♪第14回宮崎県障がい者スポーツ大会 ミニバレーボール 1位 谷口病院 オーシャンズ



数年ぶりに選手として出場しました。

2回しか練習ができなかったのが心配でしたが、パート優勝する事ができました。

練習をして、また来年出場したいです。

今回、久しぶりに参加しました。

ミニバレーは毎週2回、デイケアでしているので、試合では疲れることなくプレーができました。

優勝することもでき、すごく楽しかったです。

また、試合会場までの道のりも、久しぶりのドライブのような感じがして、よかったです。

試合の合間にみんなで食べたお弁当もおいしくて、いい思い出になりました。



今回、僕たちは、3チームで総当たりでした。

午前中に1チーム、午後に1チームと戦いました。

どちらも、2セット先取して、あまり疲れずに勝ちました。

大会に参加したチームは、全部で10チームあったので、もう少し他の勝ったチームとも戦ってみたかったです。

帰りの車内も明るく、途中トイレ休憩によったドライブインでも懐かしいバイク等も見られ、楽しい一日になりました。

川南町精神障害者福祉会 ～のぞみ会～

平成27年5月10日（日）宮崎県障がい者スポーツ大会が開催されました。

川南町精神障害者福祉会（のぞみ会）からは、グラウンドゴルフの部に4名参加しました。このスポーツ大会をみなさん楽しみにされています。

ほとんどの方が毎年参加されていて、ホールインワンを目標に参加されています。

今年は川南町精神障害者福祉会からの参加者は少なかったため、団体での参加はできませんでしたが、それぞれの記録を目標に、みなさん楽しんでいただいていたようでした。目標にしていたホールインワンをとることができた方もいました。年に数回、デイケアで練習することはありますが、大人数の中で行うのはこの大会のみです。それぞれ自分の記録を更新するために頑張っていました。

また、相手チームと一緒に応援したり、一喜一憂したり、普段は関わることのない方との関わりも楽しんでいるようでした。来年もぜひまた参加したいと思います。



～参加者の感想～

「ゲーム数がちょうどよく、疲れすぎずに楽しんでできた。」

「暑い中での開催だったが、楽しかった。目標にしていたホールインワンがとれてよかった。」

「普段は運動することがほとんどないので、いい運動になった。」

「外に出ることが少ないので、気晴らしになった。また来年も参加したい！」

「来年は参加者がふえるといいな。また参加したい！」

「練習してうまくなって、来年はホールインワンがとりたい！」



宮崎地域精神保健福祉協議会

当協議会は、宮崎市、東諸県郡における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

【こころの健康づくり講演会】

日 時：平成26年12月4日（木）

場 所：宮崎県総合保健センター 大研修室

参加者：約70名

内 容：講演「地域移行・地域定着 支援体制のポイント」

講師 一般社団法人ソラティオ

代表理事 岡部 正文 氏



精神障がい者の地域移行及び入院医療の現状や他県の取組、退院に向けた具体的な支援の中でわかったこと、地域移行を進める上での工夫や注意点等についてお話しいただきました。

障がい者が病院や施設で「病者」「利用者」としての人生を送るのではなく、「生活者」として地域で生活できるような支援や保障が必要であり、関係者が足並みを揃えながら取り組んで行くことが大事と訴えられました。

参加者からは、地域移行に関する情報発信や院内への周知の必要性、支援者が諦めずにチームとして取り組む重要性等、今後の活動に活かしていきたいとの意見が多く寄せられました。

【宮崎市内精神科病院球技大会】

開催日：平成26年6月5日

場 所：生目の杜運動公園 はんぴドーム

参加チーム：28チーム

内 容：グラウンドゴルフ



年1回の本大会では、どのチームも日ごろの練習の成果を発揮しようと、大熱戦が繰り広げられました。

また、チームを越えて、他病院チームとの交流も図ることができ、笑顔あふれる大会となりました。

大会に向けた練習に励んでいます。次の大会でも好成績が残せるよう、練習を頑張りたいです。

【協議会だより「ゆとり」の発行】

精神保健福祉に関する情報提供と協議会の活動を中心に編集した、宮崎地域精神保健福祉協議会だより『ゆとり』第19号を発行しました。

日南串間地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日南市、串間市内の１９の関係機関並びに団体で構成され、精神保健福祉の推進を図ることを目的に活動しています。精神保健福祉に関する知識の普及・啓発のための講演会、研修会及び会報「潮騒」の発行等の事業を行っています。

【スポーツレクリエーション交流会】

開催日：平成２６年１０月３１日（金）

場所：日南総合運動公園

参加人数：１２２名

○アジャタ

成績 優勝：芽立ちの会

２位：谷口病院デイケア

頑張った賞：谷口病院デイケア

○ミニバレー

成績 優勝：谷口病院デイケア

２位：谷口病院デイケア

頑張った賞：県南病院デイケア

今年度ははじめに県南病院デイケアによるウォーミングレクを行い、参加者間の交流を深めました。また、参加者の中にはこの日のためにミニバレーの練習をしてきた方や、「昨年よりもよいタイム」を目指してアジャタに参加されている方がいました。得点する度にハイタッチをして、良いタイムがでると皆で拍手をしてよろこび、楽しい時間を過ごしました。



【平成２６年度 精神保健福祉研修会】

開催日：①平成２６年１２月１８日 ②平成２６年１２月１９日

場所：①日南市役所 ②日南保健所

参加者：①３１名 ②３５名

内容：精神疾患の正しい理解と対応

精神疾患をどのようにみつめ、支えていけばよいのか
～健康な力が発揮され、地域の中で生活していけるように～

講師：宮崎県立看護大学 講師 川村 道子氏

准教授 小笠原 広実氏

宮崎県立看護大学との共催で、精神障がい者に関わる行政職、介護職、福祉職向けに研修会を開催しました。精神障がいを持つ方々をどのように支えていけばよいのか、どのような対応が必要かを学びました。参加者の８割以上から「参考になった」と回答があり、日頃の業務を振り返り、考える機会となった様です。

【協議会だより（潮騒）の発行】

精神保健福祉に関する情報提供、協議会活動を中心に編集し、平成２７年３月に日南串間地域精神保健福祉協議会だより「潮騒第２３号」を発行しました。

都城北諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は都城市、三股町における精神保健福祉の推進を図ることを目的に活動しています。主な活動としては、家族会等への活動助成や精神障がい者支援ネットワークを結成し、講演会や普及啓発イベントの企画、協議会だよりの発行を行っています。

【こころの健康づくり講演会】

日 時：平成27年2月28日(土) 午後2時から4時まで

場 所：都城保健所 多目的室

参加者：74名

(病院関係者、民生委員児童委員、一般の方等)

内 容：講演①「精神障害者が街に出る!？」

講師 医療法人 清芳会 井上病院

精神科医 米良誠剛 先生

講演②「地域移行・定着支援と精神障がい者の理解」

講師 社会福祉法人 清樹会 地域生活支援センター すみよし

ピアスタッフの方々・精神保健福祉士 山口麻衣子 氏

米良先生の講演では、統合失調症は通院やリハビリを続けて「治り続けられる病気」であり、リハビリの基本は「認める・褒める」ことが大事であると学びました。

すみよしの方々の講演では、精神障がい者の退院支援・地域生活の維持のためには、病院での治療や働きかけとともに、地域住民の皆様やピアスタッフとの関わりも重要であると学びました。

【精神障がい者家族交流会】

日 時：平成26年8月20日(土) 10:00～12:50

場 所：青井岳荘

参加者：53名(当事者、家族、病院関係者、ボランティア等)

内 容：精神保健福祉に関する正しい知識を学び、精神障がい者とその家族が地域で安心して生活できるよう考えを深めることができました。また、作業所利用者からギターと歌の発表があり、昼食ではそうめん流しを楽しみ、参加者同士の交流を図ることができました。



(作業所利用者の発表の様子)



(そうめん流しの様子)

【協議会だより「オアシス」の発行】

平成27年3月に協議会だより「オアシス」を発行しました。宮崎県精神保健福祉大会の様子や「突撃! 地元の事業所さん」と題して、さつき福祉作業所の紹介等を掲載しています。



西諸地域精神保健福祉協議会

西諸地域精神保健福祉協議会は、小林市、えびの市、高原町における精神障がい者の福祉の増進と地域における精神保健の向上を図ることを目的に活動をしています。

【西諸地域精神障がい者スポーツ交流会（愛称：あそぼかい・たのしも会）】

平成26年11月19日小林市真方地区体育館にて西諸地域精神障がい者スポーツ交流会を開催しました。

入院中の方、病院デイケア参加者、当事者会の方、家族会の方、民生委員・児童委員の方々など129名が参加しました。

午前は、グループ作りゲームや自己紹介ゲームなどのレクリエーションを楽しみました。午後は、当事者の方と地域の方々との組み合わせでチームを作り、5種類のゲームをチームで競う「チーム対抗スタンプラリー」を行いました。

上位3チームが表彰され、賞品が授与されることもあり、皆で声を掛け合うなど盛り上がりました。笑顔があふれ交流の輪が広がる1日でした。

参加団体

内村病院、小林養護院、小林市当事者会ゆうあい会、えびの市当事者の会ふら〜っと、高原町患者家族交流会あじさい会、えびの市精神障がい者「ひかり家族会」、小林市民生委員・児童委員、高原町民生委員・児童委員



足ジャンケン



リングキャッチ



輪投げ

【協議会だより「ときめき」の発行】

平成27年3月に協議会だより「ときめき」を発行しました。宮崎県精神保健福祉大会の様子や西諸地域精神障がい者スポーツ交流会の様子について紹介しています。

西都児湯地域精神保健福祉協議会

西都児湯地域精神保健福祉協議会では、西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に様々な事業を行っています。

【レクリエーション交流会】

日 程：平成26年11月14日（金）

場 所：木城町体育館

参加数：121名

内 容：歌カルタ取り、アジャタ、
13種類のレクリエーション



懐かしい遊びもあり、あちこちで歓声の上がる交流会になりました。

【当事者も支援者も共に悩もう！「発達障がいのリアルな姿」に迫る研修会】

日 程：平成27年3月14日（土）

場 所：高鍋保健所

参加数：25名

内 容：第1部 講演・グループワーク

「就労移行支援には行ったらけれど」

－ 限界と努力の狭間で失敗を繰り返す意味の発見 －

「支援機関を利用しない私が自立支援協議会で

就労支援者と出会い感じたこと」

「高校生としてこれからの夢や希望－そしてそれを拒むもの－」

「子ども・大人・就労－支援以外の場面での

継続的なかわりでの気づき－」

「就労支援の前に大切な事」

第2部 ワークショップ

「魅力パズルワークショップ－自分の魅力、他人の魅力に気付いてつながろう－」

講 師：熊本県発達障害当事者会 Little bit

山田 裕一 氏、桐山 鈴 氏

宮崎成人・青年発達障害当事者会 ShiKiBu 海野 縞子 氏

沖縄県北部自立生活センター希輝々

日高 理緒 氏

相談ネットワーク「ぴよこん」

高橋 優子 氏



当事者から経験や特性の分かりやすい話があり、「支援者にもどうしたら良いか悩んでほしい」、「何気ない困ったなあを拾い上げて繋げて」との支援者への提案もありました。

【出前講座】

回 数：3回

受講数：延べ100名（民生委員児童委員、施設職員）

内 容：精神疾患の理解と対応

受講者からは対応することへの不安がある一方で、「本人からの話も聞きたい」との要望もあがり、活発な意見交換もできました。



日向入郷地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村内の25の関係団体と117人の賛助会員により構成され、精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

【さわやか交流会】

日時：平成26年9月18日（木） 場所：サンドーム日向

競技種目：玉入れ、ホールインワン大会

記念すべき10回目を迎えた玉入れ競技。今年度から、個人で競うホールインワン大会を新たに企画し、2つの競技を実施しました。医療機関や市町村のデイケア、地域活動支援センターなどから、131名の参加がありました。例年よりも参加者が増え、賑やかでした。

優勝したチームは、100個の玉を36秒で入れるという驚異のタイムをたたき出しました。

また、ホールインワン大会では、練習なしの1本勝負という無謀なルールでしたが、見事2名の方が、ホールインワンし、お菓子のレイを獲得しました。



【こころの健康づくり講演会】

日時：平成27年2月23日（月） 場所：日向保健所多目的ホール

演題：「ひきこもりの理解と家族の望ましい対応について」

講師：新潟青陵大学看護学科教授 斎藤まさ子先生



ひきこもり親の会を対象とした支援プログラムを提案している斎藤先生が、ひきこもりの概要、ひきこもる本人、家族の役割、ひきこもりの望ましい対応等について話されました。

ひきこもり支援において、家族が最も強力な支援者であると同時に、家族自身も支援対象であることを強調されました。私達支援者の視点を改めて考える機会となりました。

ひきこもり者の増加が、社会的な問題となっているため、受講者の関心も高く、63名もの参加がありました。

【地域家族会合同研修会】

日時：平成27年2月13日（金） 場所：あいとぴあ

内容：地域生活体験発表、交流会、レクリエーション

今年度は、初の試みで地域で生活している当事者の生活体験発表をしてもらいました。

参加者からは、「病気とは思えない」「素晴らしい」等の感嘆の声が上がりました。30年以上長期入院を経て、現在は、生き甲斐を持って、地域で生活している当事者の発表を聞き、希望が見えた家族もおられ、とても有意義な時間を過ごすことができました。



延岡地域精神保健福祉協議会

当協議会は、延岡市における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として、延岡ハートフルスポーツ大会、こころのコンサート、こころの健康づくり講演会、こころの広場の発行などさまざまな事業を行っています。

【延岡ハートフルスポーツ大会】

日 時：平成26年11月7日（金）

参加者：176名

場 所：延岡勤労者体育センター、妙田緑地

今回で21回目の開催となり、グラウンドゴルフとミニバレーの2種目で競技が行われました。今年度もたくさんのチームの参加がありました。

チームが一丸となって、楽しくプレーする姿が見られました。



【こころのコンサート】

日 時：平成26年12月12日（金）

参加者：184名

場 所：カルチャープラザのべおか ハーモニーホール

今回で9回目の開催となりました。7団体が参加し、歌やダンス、演劇、演奏、お楽しみ抽選会等バラエティに富んだ内容でした。一緒にダンスを踊ったり、歌を口ずさんだりと、参加者全員が一緒になって楽しむことのできるコンサートとなりました。



【こころの健康づくり講演会】

日 時：平成27年2月14日（土）

参加者：130名程度

内 容：〈講演の部〉演題「こころをつなげて支え合うまちに～いのちを守るためにできること～」

講師：山口 和浩氏

〈演奏の部〉演奏者：リラの会（ハープ愛好者団体）

中学2年時に父親を自殺で亡くした経験をもとに自死遺族の支援を行っている山口和浩さん。涙を流す参加者の姿も見られ、心に残る講演となりました。演奏の部では、普段聞くことのできないハープの音色に心癒やされ、すばらしい講演会となりました。



【こころの広場】

心の健康づくりと精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供を目的として、年1回発行し、会員、関係機関、当事者及び家族、ボランティア等へ配布しました。

西臼杵地域精神保健福祉協議会

当協議会は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として団体会員、個人会員で運営し、啓発活動を中心に事業を進めています。

こころの健康づくり講演会

○日 時：平成27年3月5日（木）

○参加者：45名

○発 表：高千穂焼作業所の利用者と職員の皆様による手話とハーモニカ演奏



ハーモニカと手話を合わせて3曲披露していただきました。日ごろの練習の成果を一生懸命に発表していただき、参加者の皆さんも演奏に合わせて歌を口ずさみながら音楽を楽しんでおられました。

○演 題：「アルコールとこころの健康」

○講 師：宮崎県精神保健福祉センター 松田 裕 所長

講演会では、アルコール依存症とアルコールと自殺の関係について話をいただきました。行政、民生委員、住民など約50名の参加があり、参加者は熱心に先生の話に耳を傾けておられました。今回の講演では、アルコールについて正しい知識をもつこと、地域と関係機関が連携して本人や家族を支援していく環境をつくること、自助グループを活用した支援など、アルコールに関連した問題と向き合っていくうえでの大切なポイントを学ぶ機会となりました。



家族のつどい

国見ヶ丘病院及び管内三町と合同で、精神障がい者の家族が抱えている気持ちを表現する場や家族同士の交流を深める場、病気を理解する場をつくることを目的として開催しています。平成26年度は1回開催し、7名の家族が参加されました。

精神障がい者支援組織・グループの動き

特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会
理事長 立本 久子

宮精連の平成27年度定期総会が5月24日（日）宮崎市総合福祉保健センターで開催され、会員など約百名が参加しました。冒頭の立本久子会長挨拶に続き、来賓の川原光男県障がい福祉課長（代理・工藤課長補佐）、松田裕県精神保健福祉センター所長が来賓挨拶を行なって頂きました。

総会では平成26年度事業報告、決算報告と平成27年度事業計画及び予算案を審議し賛成多数で承認された。また、本年度は役員改選の年で、立本久子、吉井光政、國分哲郎、大藺良一、桑畑貴志、川畑貞利、清岩男、永友次彦の各役員と監事2名が重任新任として承認されました。

宮精連は主に啓蒙活動を行っていた3年前に比べ、面白演芸スポレク大会など、会員同士が直接交流できる活動を重視しています。毎回200名以上の参加もあり、今年度はこれに加え、各地で胎動しはじめている当事者会の活動支援も打ち出しています。また今年度は福岡県でみんなねっと全国大会が、九州家族会と合同で開催される運びとなっていますので、積極的に参加する予定です。



創立45周年記念大会を迎えるにあたって

宮崎県断酒友の会 会長 米崎 邦雄

宮崎県断酒友の会は本年8月16日で創立45周年になります。これもひとえに医療・行政の支援の賜物であります。こころより感謝申し上げます。以来今日まで「孤独からの脱出」をテーマに酒害活動してきました。九州の南の果てで断酒の「かがり火」ともし続けてきました先人に思いを馳せ、これから断酒を志す仲間の為に宮崎県断酒友の会を維持いたしたく、記念大会を開催することにしました。

当時、アルコール依存症はアル中と言われ、人格障害か、性格に問題があると思われていました。アルコール依存症が病気とはだれも認めてくれませんでした。社会的には、アル中とレッテルを貼られ、偏見に充ちた村八分的存在でした。アルコール依存症は治癒しない病気であるが、酒さえ飲まなければ回復はあり得る病気とはだれも思いませんでした。だから、社会的に問題あるアルコール依存症は精神科に困われるだけで、治療プログラムはありませんでした。創立当時、昭和45年は高度経済成長のまっただ中でした。経済成長の陰で、労働争議が全国でおき、きつい、汚い、危険、そして長時間労働が日常でした。過酷な労働条件のなかで、ストレス解消に安い酒が重宝がられました。また、日本文化の宴会での無礼講は、働く者の不平、不満を吐き出すには酒はなくては、ならないものとなりました。同時にアル中を大量に社会に放出しました。敗戦国の日本が世界第2位経済大国になったのは、ある意味では、酒の力が必要でした。もし、酒がなければ、過酷な労働は暴動か政治紛争になっていたかもしれません。こんな時代背景がアルコール依存症を社会に放出したのかもしれません。アルコール問題を政治的に問題解決する法律はありませんでした。

「アルコール健康障害対策基本法」が2013年12月7日に成立し、以来、関係者会議、ワーキンググループ等で具体的に対策を議論されています。この法律は大きくは2本の柱からなっています。①アルコール依存症の予防対策・・・アルコール使用障害を防ぐ。②アルコール使用障害者「アルコール依存症」を如何に治療し、社会復帰させるかです。断酒会にとって、「アルコール健康障害対策基本法」は追い風かもしれません。行政の長である政府自らが、「アルコール依存症」は病気であることを宣言したことに、大きな意義があります。アルコール依存症からの回復を妨げるネックは酒害者本人・家族がアルコール依存症を否認することです。それはアルコール依存症に対する社会的偏見が大きな原因です。その偏見がとれれば、もっと早く医療行政に繋がり、また、私たち断酒会の自助グループから回復への道が早く開けたかもしれません。この法律は単に、アルコール依存症者だけでなく、アディクションに悩む仲間にも、新しい道が開ける原動力になるはずです。

宮崎県断酒友の会の会員はアルコール依存症以外、すべて、生活・思想・性別・地位、経済・イデオロギーが違うなかで45年も継続できる不思議な集団です。そこに断酒会の素晴らしさがあると信じます。

ルピナス倶楽部の動き

会長 児玉 一生

私たちルピナス倶楽部は、宮崎県精神保健福祉センターを拠点として、月1回定例会を行い、年2～3回発行する会報「ひまわり」を通じて、県内の精神障がい者、その家族及び県民の皆様
に精神障がい者を理解いただき、偏見・差別をなくす活動を行っています。

平成26年度は、9月20日（土）に、宮崎市民文化ホールの2階会議室で、ルピナス倶楽部
として初めてのピア交流会を開催しました。開催の準備は、地域活動支援センターすみよしのピア
スタッフの方々などと一緒に準備しました。

県内各地から、10団体、23名が参加しました。はじめに、各グループの代表の方から、主
な活動内容が発表されました。その後、3グループにわかれて、グループワークを行いました。
ストレスの対処法というテーマでは、1人ずつ発言しました。アートをする、音楽を聴く、スポー
ツをする、アロマでリラックス、病院のデイケアに参加などの意見が出ました。また、活動資金
のことも話し合いました。活動を通して目標や夢が広がり、就労などの目標に向けて取り組んで
いきたい、ピアスタッフを目指したいなどの意見も出ました。

会場では、ピアスタッフは、どういう方がなれるのかという質問があり、病気の経験を活かし
て活動する方、ピアの理念を理解している方、スタッフと信頼関係が築ける方という返答があり
ました。

交流会のアンケートでは、「参加してよかった」「新たな見聞が得られた」など、病気を抱えな
がらも前向きに生きていることが感じられました。

精神保健福祉センターの憩いの部屋で行う毎月の定例会は、お茶のふるまいなど、和気あいあ
いとした雰囲気の中で、日々のできごとや、体調管理、気になることなど、皆の思いが自然に語
られる場になりました。

これからも、より多くの方に気楽に参加してもらい、悩みを抱え込まないよう交流の場を続け
ていきたいと思います。

社会福祉法人 サン・スマイル福祉会

サン・スマイル

働くことで得られる喜びを提供し、活動的に地域での生活が営めるように応援します!!

就労継続支援B型事業<定員12名>

障害により、企業などへの就職が困難な方に対して
雇用契約を結ばずに働く場所を提供します。

作業内容 仕出し弁当、剪定、スイトピー作業など



民家や企業の剪定・除草作業を行っています。
秋から春先までは、スイトピー農園の作業を行っています。

食品加工班では、月曜日～土曜日にお弁当の製作・販売・配達を企業向けに行っています。
作業内容は、調理補助・配膳準備・配達補助の作業です。

お問い合わせ先

宮崎県日南市星倉2308番地

TEL 0987-25-9800

<http://障害福祉サービス.com>

社会福祉法人大樹会 SocialWork 日南 南風の丘

平成26年3月からサービス提供開始!

(就労継続支援 A 型・B 型)

事業所を利用する障害者が、農業生産活動、太陽光発電事業及びサービス付き高齢者住宅事業の中で、自立支援プログラムに基づく多様な作業を体験するとともに、個々の特性に合った知識と技術を身につけ、更には次のステップとして将来にわたり社会的・経済的に自立した生活ができるよう、企業への就職といった形でのスムーズな就労移行を継続的に支援することを開業2年目に向けて努力しています。



太陽光パネル清掃作業

住宅清掃作業



草刈り除草作業

職業指導員の指導のもと、農業分野においては栽培や農地周辺の環境整備、太陽光発電事業においては設備設置敷地における除草作業や設備の清掃作業等、サービス付き高齢者住宅事業においては施設（住宅）内清掃作業、屋外環境整備等の活動を行います。



社会福祉法人陽気会 就労継続支援B型事業所 サニーサイド宮崎

社会福祉法人陽気会の本体は兵庫県神戸市の北区にあり、平成24年9月から小林市で定員20名の就労継続支援B型事業を行っています。

地域で暮らす障害者の方々の自立した日常生活または社会生活を目的に、ご本人の得意な作業をしていただき、利用者の得意な所を伸ばしていけるような支援を心掛けています。開設当初から利用していただいている方もたくさんおられ、利用者の表情が明るくなり「サニーサイド宮崎は楽しい」と言って、毎日元気に通っていたことが私達職員の一歩の喜びです。

これからも新しい作業の導入や余暇活動の充実など、障害者の方々の自立した日常生活または社会生活に向けた就労の機会、生産活動、その他の活動を提供できるように努力していききたいと思います。



畑 作 業

- ◆サニーサイド宮崎直営の畑で、有機農法で農薬を使用していない安全な野菜作りを行っています。
- ◆野菜の植え付け・収穫、草抜き等の作業を行っています。



選別加工作業

- ◆葱・韭の選別加工を行っています。ノルマはなく、利用者個々のペースで行ってもらっています。
- ◆カット葱や青果用で主に兵庫県の神戸市に出荷しています。
- ◆冬季限定で、人参の洗浄・選別加工も行っています。
- ◆人参は、ジュース用で青森県に出荷しています。



出荷加工作業

- ◆選別加工した葱・韭の計量・袋詰め・箱詰めを行っています。



余 暇 活 動

- ◆お花見、ハイキング、バーベキュー、忘年会等、利用者の方々の気分転換や他者との交流を深める機会にして頂こうと季節毎に年4～5回実施しています。

お問い合わせ先

☎886-0006 宮崎県小林市北西方3737-1(移転先住所)

TEL(0984)27-3253 FAX(0984)27-3254

※平成27年7月より事業所を移転しました。

就労継続支援A型 「N e x t みらい新富事業所」

N e x t みらい新富事業所の目的・運営方針

通所による就労や生活活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力の高まった方には、一般企業等への移行に向けて支援いたします。

関係法令を遵守し、関係機関との連携を図った適切かつ、きめ細やかな就労継続支援A型のサービスを提供します。

利用対象者

身体障がい者・精神障がい者・知的障がい者の方で、就労を目指す18歳から64歳（利用開始時）の方

資格や経験などは特に必要ありません。

施設概要

場 所： 児湯郡新富町富田2丁目7番地（マインド駐車場西側）

利 用 日： 月曜日から土曜日（日・祝祭日は休み）

利用時間： 午前10時から午後4時

利用定員： 20名

仕事内容

ブログ作成 ・ S E O対策 ・ A R広告作成 ・
不動産管理（清掃業務）



～ 一般就労に向けて
ビジネスマナー講座も行っています。 ～

事業所案内 A R 広告

iPhone は  (App Store) から、スマートフォンは  (Google Play) から無料アプリの「junaio (ジュナイオ) 」をダウンロードして、右のロゴ  をスキャンすると iPhone・スマートフォンに事業所の案内動画が再生されます。





株式会社東九とうきゅう農園

(就労継続支援B型)



～とうきゅう農園ができるまで～

平成16年、農業生産法人株式会社東九農園に精神障がい者の受け入れ相談がありました。社会適応訓練事業の説明をされましたが、精神障がいに対する知識がなかったため断りました。このことをきっかけに、働く意欲があるのにどうして働けない？どんな病気？社会復帰？と考えはじめ、ただ拒否するのではなく、彼らのことを知ってみようと思いました。

日向保健所保健師、従業員、支援者も一緒に勉強会をしました。知ることによって不安は軽くなりましたが、正直、

新たに出てきた不安もありました。法人は、誰でもできる農業を目指していたので、障

がいのある方にも働きやすいのではないかと、受入れが始まりました。社会適応訓練事業は3年間しかありません。一般の人も仕事がない時代、障がいのある方

はもっと厳しく、3年後の就職先がなかなか見つからないのが現状です。

訓練生が増え、専門的知識を求められることが多くなってきたため、今年5月に株式会社東九とうきゅう農園（定員20名）を開設しました。作業は、農作業を中心に加工品の製造・販売などがあり、一般就労を目標に訓練しています。訓練以外にも毎月楽しい行事もあります。



住み慣れた地域で、日常生活または社会生活を営むことができるよう就労の機会を提供し、自己実現できるよう支援しています。

興味のある方は、見学ができますので事前にご連絡をお願いします。



【お問い合わせ】 日向市美々津町 1203 番地 1

TEL：0982—58—1850（平日9時～17時）

特定非営利活動法人 のべおか城昇会
就労継続支援B型事業所 大瀬作業所（福祉作業所）

平成24年4月 就労継続支援B型事業開始



私たちの大瀬作業所は、障がい者が自立した日常生活または、社会生活を営むことが出来るように就労の機会を提供すると共に生産活動の場、その他の活動の機会を通じて、利用者の知識及び能力の向上のために必要な訓練を行い、その利用者に『寄り添い』適切なサポートを行っています。

【就労作業：農作業・リサイクル活動】～今日も無理せず、明るく楽しく取り組む農作業～



畑、ハウス（2棟）にて季節の野菜を栽培、収穫、販売、JA ふるさと市場、イオン延岡、マックスバリュートなどに新鮮な野菜を提供しています。

地域の資源ごみ、アルミ缶、ペットボトル、古紙、ダンボールなどのリサイクル回収に巡回しています。



【就労作業：外注弁当販売】～おふくろの味が大好評！！



たくさんのお客様に大変喜んで頂いております。
地域イベントの際の販売活動も積極的に行っています。



【就労作業：おかし・パン工房】

～「おおせ工房」味の良さで大人気！
チーズ饅頭、あんパンなどの製造販売を行っています。
宮日新聞などにも紹介されました。



【就労作業：委託作業】

委託先業者から昆布漬の袋詰め、お菓子の箱詰めなどを丁寧に行っています。

（施設長：日高明美）

五ヶ瀬に輝く

福祉作業所 日融工房



平成26年4月に
就労継続支援B型事業所としてスタート

日融工房は、平成10年から小規模作業所として障がいのある方達の支援を行っていましたが、作業場所が確保出来ない日があり、平成17年からは休業していました。その後、地域の皆さんの再開を求める声に応え、五ヶ瀬町で初めて障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業所として上組保育所跡地で就労支援事業を開始しました。

自立した社会生活の為に活動

日融工房では障がいを持った人が自立した日常生活や社会生活を営むことが出来るよう農作業や製品作成（機織り・かずら工芸・クラフトバック作り・編み物など）を行っています。町の成人式や地域の敬老会では利用者が作成した製品を記念品として贈らせていただきました。



月に一度のいきいきサロン・ デイケアに参加

いきいきサロンでは、ふれあい指導員さんのもとの、地域の高齢者と利用者が一緒に健康チェック・体操・ゲームなどを行っています。デイケアでは、保健師さんや管理栄養士さんの指導による調理実習、バスを貸切り町めぐりレクリエーション、上組小学校との交流など楽しい行事も取り入れながら活動しています。



宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

平成26年度事業実績

1. 会議開催

(1) 第1回総会（平成26年5月26日）

- ① 役員の改選について
- ② 平成25年度事業実績について
- ③ 平成25年度決算について
- ④ 報告事項
 - ・ 第13回（平成26年度）宮崎県障がい者スポーツ大会の開催実績について
 - ・ 第54回（平成26年度）宮崎県精神保健福祉大会の概要について

(2) 第1回理事会（平成26年8月4日）

- ① 宮崎県精神保健福祉関係団体助成金交付要綱の改正等について
- ② 精神保健福祉功労者に対する「平成26年度宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰」の選考について
- ③ 宮崎県精神保健福祉連絡協議会の新たな事業について
- ④ 精神保健福祉みやざき（第54号）の発行について
- ⑤ 報告事項
 - ・ 第54回精神保健福祉大会の進捗状況について

(3) 第2回総会（平成27年3月9日）

- ① 役員改選について
- ② 平成27年度の新たな事業について
- ③ 宮崎県精神保健福祉関係団体助成金交付要綱の改正について
- ④ 平成27年度事業計画について
- ⑤ 平成27年度当初予算について
- ⑥ 第55回精神保健福祉大会について
- ⑦ 報告事項
 - ・ 第54回精神保健福祉大会について

2. 大会開催

(1) 第13回宮崎県障がい者スポーツ大会

平成26年5月11日（日）宮崎県総合運動公園ほかで開催

参加者 2,198名（選手数1,608名、うち精神障がい者373名）

(2) 第54回精神保健福祉大会

平成26年10月17日（金）小林市文化会館にて開催

参加者 600名

3. 精神保健福祉功労者表彰

- (1) 県大会時表彰状及び記念品授与 5件（個人5名）

4. 支援・助成

- (1) 宮崎県精神福祉連合会（助成額 30万円）
(2) 宮崎県断酒友の会（助成額 5万円）
(3) 宮崎県精神障害者団体連合会「ルピナス倶楽部」（助成額 5万円）

5. 普及・啓発

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき（第54号）」の発行・配布（1,000部）
(2) 啓発誌「心の健康（No.69）」の作成・配布（8,000部）
(3) 専用ホームページの運用
(4) 検索システム「こころ安心・相談ネット（愛称：みやざきこころ青Tねっと）」の運用

6. その他

- (1) 九州精神保健福祉協議会理事会（長崎市） 平成26年11月28日開催

平成27年度事業計画

1. 大会開催

- (1) 第14回宮崎県障がい者スポーツ大会
平成27年5月10日（日）（会場：宮崎県総合運動公園、宮崎エースレーン）
(2) 第55回宮崎県精神保健福祉大会
平成27年10月23日（金）（県央ブロック）

2. 精神保健福祉功労者表彰

第55回宮崎県精神保健福祉大会時に表彰状授与

3. 普及・啓発事業

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき（第55号）」の発行・配布（1,000部）
- (2) 啓発誌「心の健康（No.70）」の作成・配布（8,000部）
- (3) 広報媒体「専用ホームページ」の運用
ホームページアドレス（<http://www.miya-seiren.com>）
- (4) 「こころ安心・相談ネット（愛称：みやざきこころ青Tねっと）」の運用
ホームページアドレス（<http://www.m-aot.net>）
- (5) 「自殺対策強化月間（3月）」関連普及啓発
パネル展示、チラシなどの配布

4. 各種団体に対する助成

- (1) 宮崎県精神福祉連合会が実施する啓発活動等への助成
- (2) 宮崎県断酒友の会が実施する啓発活動等への助成
- (3) ルピナス倶楽部が実施する啓発活動等への助成
- (4) 精神保健福祉関係団体が実施する啓発活動等への公募による助成

5. 総会・理事会の開催

- (1) 第1回総会（平成27年5月下旬頃開催予定）
平成26年度事業実績・決算承認、役員改選、精神保健福祉大会など
- (2) 第1回理事会（平成27年8月中旬頃開催予定）
会長表彰者決定、公募事業決定、機関誌発行など
- (3) 第2回総会（平成28年3月中旬頃開催予定）
平成28年度事業計画・当初予算など

4. その他

- (1) 九州精神保健福祉協議会理事会（熊本県） 平成27年11月下旬開催予定
- (2) 全国精神保健福祉連絡協議会総会（山梨県） 平成27年10月開催予定

平成２７年度 精神保健福祉活動支援事業 助成団体の募集について

宮崎県精神保健福祉連絡協議会は、これまでも県内の精神保健福祉の向上を目的として活動する団体を支援してきました。このたび、精神保健福祉活動のさらなる支援を行うため、平成２７年度から、新たな助成金制度を設け、下記のとおり募集します。

１ 助成対象事業

- ①活動支援 １０万円（上限） ３団体程度
- ②広報支援 ３万円（上限） ５団体程度

２ 対象となる団体

宮崎県内の地域精神保健福祉協議会に所属する団体、その他の県内で精神保健福祉活動に取り組む団体（１会計年度以上の活動実績のある団体に限る）

３ 対象となる活動

- ①活動支援
市町村、地域精神保健福祉協議会等と連携・共同して行う精神保健福祉の向上を図る活動（自殺防止対策、精神障がい者の生活支援など）
- ②広報支援
地域活動支援センター、就労継続支援事業所、当事者会、家族会等が行う広報活動

４ 応募条件

- ①対象となる事業活動について、宮崎県精神保健福祉連絡協議会のホームページ等で公開されることに同意できること
- ②他の助成金等との重複の調整は、応募者の責任で行うこと

５ 選考基準

- ①活動の目的・内容が明確であり、将来性・継続性があること
- ②先駆的・モデル的な活動であること

６ 必要書類

- ①事業申請書 ②前会計年度の事業活動実績書 ③前会計年度の収支決算書
- ④団体が発行する機関誌・パンフレット等

７ 応募期間等

平成２７年４月１日～２７年６月３０日（８月中旬に決定通知を送付予定）

８ 応募先

- ①地域精神保健福祉協議会に所属する団体 →各地域精神保健福祉協議会
- ②その他の精神保健福祉活動に取り組む団体 →宮崎県精神保健福祉連絡協議会
〒８８０－００３２ 宮崎市霧島１丁目１－２ 宮崎県精神保健福祉センター内

９ 問い合わせ先

宮崎県精神保健福祉センター（担当：瀬戸口） 電話：０９８５－２７－５６６３

第55回宮崎県精神保健福祉大会 特別講演資料

第3回長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に係る検討会作業チームのヒアリング(H26.5.20)資料より、特別講演の講師をお願いした阪井ひとみさん(阪井土地開発株式会社代表取締役)の了解をいただいて、議事録の一部を抜粋して掲載しました。

○自分の家に住み、少しずつ変化が出てきた皆さん

退院した人を受け入れているマンションの1つ「サクラソウ」では、入居者が自分たちでルールを作り、お互いをわかりあって生活しています。

夕方になると、たくさんの住民が1階の談話スペースに集まってきます。このスペースは、一人で部屋にいたくない人が、みんなと話をし、困ったことや病気のこと、職場のこと、人間関係や家族のことなど、自分が話したいことを誰かに聞いてもらいたいなど、色々なお話が聞こえてきます。

ここでは、精神障がい者が苦しむ「幻聴」や「妄想」も支え合って乗り越えています。私にはわかりませんが、彼らにはどんなに苦しいかわかっています。このため、「サクラソウ」では、幻聴が始まった様子に気づいた人が、同じアパートの住人に知らせたり、私に教えてくれたりします。おかげで、病院や、訪問看護ステーションに連絡をし、早く対処することができるので、入居者も我慢して体調がわるくなって事故を起こし、長期入院や閉鎖病棟に入院することがなくなりました。

もちろん、長期入院の人が退院してアパートに入っても、最初の数週間は何をやってよいのかわからず、みんなとただ話をするだけです。でもその後、1ヶ月もすると、自分で掃除や洗濯をしはじめ食事を作るようになった人や、簡単な金銭管理まで自分でできるようになった人もいます。毎日お小遣い帳も欠かしません。また、自分らしい生活が1つ1つでき始め、B型作業所に通い始める人もいます。

最近では、妄想などのため家族と離れて一人暮らしだった入居者のみなさんが家族と一緒に住み始めたケースも出てきました。病気がよくなって、一度離婚していた家族が復活したケースもあります。

以前は、自分のことを前向きに考えられなかった皆さんが、最近では、映画やカラオケ、女子会や花火大会、町内のお祭りに参加しています。その際、きれいな服装をしたり、お化粧やネイルアートを楽しんだり、パーマやヘアカラーを試みたり、カーテンの色を変えて部屋の中をコーディネートして気分を変えたりと、生活全般に気を使えるようになりました。夏祭りでは、浴衣を着たりします。昔好きだったからと、ローカル電車で旅に出たり、ボランティアに参加したり、絵を描きに行く人さえ現れました。自分がいつも支えてもらうのではなく、誰かに手を差し伸べることさえでき始めました。自分が人の役に立つということの喜びを感じてくださっています。

この光景を見ると私まで、うれしくなります。「暗い表情で生きる希望が感じられなかった皆さんが、きれいな家で人間らしい生活をするにつれて、表情が明るくなった。もっと色々なことがしたいと前向きな発言をするようになった」という話を聞くと、がんばって良かったと思っています。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿

平成27年4月1日現在

役 職	氏 名	機関・団体名等
会 長	高 宮 眞 樹	宮崎県精神科病院協会 会長
副 会 長	石 田 康	宮崎大学医学部臨床神経科学講座 精神医学分野 教授
常 務 理 事	松 田 裕	宮崎県精神保健福祉センター 所長
理 事	三 山 吉 夫	宮崎大学 名誉教授
理 事	後 藤 勇	宮崎地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	谷 口 浩	日南串間地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	内 田 恒 久	都城北諸地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	内 村 大 介	西諸地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	中 林 永 一	西都児湯地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	田 中 洋	日向入郷地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	吉 田 建 世	延岡地域精神保健福祉協議会 代表 宮崎県精神科医会 会長
理 事	植 松 昌 俊	西臼杵地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	古 郷 博	宮崎県精神科診療所協会 副会長
理 事	渡 邊 浩 司	宮崎県福祉保健課長
理 事	川 原 光 男	宮崎県障がい福祉課長
理 事	立 本 久 子	宮崎県精神福祉連合会 理事長
理 事	米 崎 邦 雄	宮崎県断酒友の会 理事長
理 事	矢 野 光 孝	宮崎県障害者社会参加推進センター 所長
監 事	山 崎 睦 男	宮崎県社会福祉協議会 事務局長
監 事	和 田 陽 市	宮崎県保健所長会 会長

●役 員 数：理事18名（会長1名、副会長1名、常務理事1名を含む）、監事2名

●役員任期：平成27年4月1日～平成29年3月31日（2年間、新任者も同じ）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿

正会員

平成27年8月現在

組織・団体名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX 番号	ホームページ
宮崎地域精神保健福祉協議会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
日南串間地域精神保健福祉協議会	889-2536	日南市吾西1-5-10 日南保健所内	0987-23-3141	0987-23-3014	
都城北諸地域精神保健福祉協議会	885-0012	都城市上川東3-14-3 都城保健所内	0986-23-4504	0986-23-0551	
西諸地域精神保健福祉協議会	886-0003	小林市大字堤3020-13 小林保健所内	0984-23-3118	0984-23-3119	
西都児湯地域精神保健福祉協議会	884-0004	児湯郡高鍋町大字蚊口浦5120-1 高鍋保健所内	0983-22-1330	0983-23-5139	
日向入郷地域精神保健福祉協議会	883-0041	日向市北町2-16 日向保健所内	0982-52-5101	0982-52-5104	
延岡地域精神保健福祉協議会	882-0803	延岡市大貫町1-2840 延岡保健所内	0982-33-5373	0982-33-5375	
西臼杵地域精神保健福祉協議会	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井1086-1 高千穂保健所内	0982-72-2168	0982-72-4786	
一般社団法人 宮崎県精神科病院協会	880-0013	宮崎市松橋1-1-32 コーポはまゆう7F	0985-60-2671	0985-60-2672	
一般社団法人 宮崎県精神科診療所協会	880-0001	宮崎市橘通西1-5-3 細見メンタルクリニック内	0985-35-1100	0985-38-1711	
宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野	889-1692	宮崎郡清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp
社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会	880-8515	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-22-3145	0985-27-9003	http://www.mkensha.or.jp
宮崎県精神科医会	889-0511	延岡市松原町4-8850 吉田病院内	0982-37-0126	0982-37-0233	
特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会	880-0873	宮崎市堀川町165番地 立本久子様方	0985-29-6816	0985-29-6816	http://www5.ocn.ne.jp/~mkaren
宮崎県断酒友の会	880-0913	宮崎市恒久6丁目9-11	0985-53-6030	0985-53-6030	
宮崎県障害者社会参加推進センター	880-0007	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-26-2950	0985-55-0258	
宮崎県保健所長会	885-0012	都城市上川東3-14-3 都城保健所内	0986-23-4504	0986-23-0551	
宮崎県福祉保健課	880-8501	宮崎市橘通東2-10-1	0985-26-7074	0985-26-7326	http://www.pref.miyazaki.lg.jp
宮崎県障がい福祉課	880-8501	宮崎市橘通東2-10-1	0985-32-4471	0985-26-7340	http://www.pref.miyazaki.lg.jp
宮崎県精神保健福祉センター	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	0985-27-5663	0985-27-5276	http://www.seihocenter-miyazaki.com
宮崎大学名誉教授	889-1911	北諸郡三股町大字長田1270 老年期精神疾患センター内	0986-52-5800	0986-52-5573	

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX 番号	ホームページ
宮崎大学医学部附属病院精神科	889-1692	宮崎郡清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/hospital
医療法人清芳会 井上病院	880-0123	宮崎市大字芳士80	0985-39-5396	0985-39-2410	http://www.inoue-hp.net
社会医療法人同心会 古賀総合病院	880-0041	宮崎市池内町数太木1749-1	0985-39-8988	0985-39-0067	http://www.kgh.or.jp
医療法人真愛会 高宮病院	880-0841	宮崎市吉村町大町甲1931	0985-24-5678	0985-22-1571	http://www.takamiya.or.jp
一般財団法人弘潤会 野崎病院	880-0916	宮崎市大字恒久5567	0985-51-3111	0985-51-3114	http://www.koujunkai.jp
医療法人慈光会 宮崎若久病院	880-0945	宮崎市福島町寺山3147	0985-51-1548	0985-52-7394	http://www.miyazaki-wakahisa.com/
医療法人如月会 若草病院	880-0804	宮崎市宮田町7-37	0985-28-2801	0985-20-0819	http://www.miyazaki-wakakusa.or.jp

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
一般社団法人藤元メディカルシステム 大悟病院	889-1911	北諸郡三股町大字長田1270	0986-52-5800	0986-52-5573	http://www.fujimoto.or.jp
医療法人恵心会 永田病院	885-0084	都城市五十町5173	0986-23-2863	0986-23-2238	http://www.nagatahp.or.jp
一般社団法人藤元メディカルシステム 藤元病院	885-0055	都城市早鈴町17-4	0986-25-1315	0986-25-2473	http://www.fujimoto.or.jp
医療法人一誠会 都城新生病院	885-0093	都城市志比田町3782	0986-22-0280	0986-25-1958	http://www.shinsei-hp.jp
医療法人隆誠会 延岡保養園	882-0863	延岡市緑ヶ丘5-14-30	0982-33-6396	0982-35-3370	http://www.ryuseikai.com
医療法人建悠会 吉田病院	889-0511	延岡市松原町4-8850	0982-37-0126	0982-37-0233	http://www.yoshidahospital.or.jp
医療法人同仁会 谷口病院	887-0034	日南市大字風田3861	0987-23-1331	0987-23-7739	http://www.taniguchi-hospital.jp
医療法人浩然会 内村病院	886-0002	小林市水流迫852番地1	0984-23-2575	0984-22-6442	http://www.uchimura-hospital.jp/
医療法人信和会 小林保養院	886-0003	小林市大字堤2939	0984-22-2836	0984-22-5341	
医療法人和敬会 国見ヶ丘病院	882-1102	西臼杵郡高千穂町大字押方1130	0982-72-3151	0982-72-3153	http://www.kunimigaoka.or.jp
医療法人十善会 県南病院	888-0001	串間市大字西方3728	0987-72-0224	0987-72-5967	http://www.kennan-hospital.or.jp
医療法人向洋会 協和病院	883-0021	日向市大字財光寺1194-3	0982-54-2806	0982-54-3319	http://www.kyowahospital.jp/
医療法人望洋会 鯨島病院	883-0033	日向市大字塩見14168	0982-54-6801	0982-53-7313	http://www.sameshima-hp.jp
医療法人社団慶城会 瀧井病院	883-0033	日向市大字塩見11652	0982-52-2409	0982-52-2403	http://keijukai.pr.miten.jp/modules/myalbum1/
特定医療法人浩洋会 田中病院	889-0623	東臼杵郡門川町宮ヶ原4-80	0982-63-2211	0982-63-2211	http://www.h7.dion.ne.jp/~tanaka_h
医療法人恵喜会 西都病院	881-0023	西都市大字調殿1010	0983-43-0143	0983-43-3625	
医療法人りっか会 ビア・メンタルささき病院	880-0211	宮崎市佐土原町下田島21230	0985-73-1811	0985-72-0640	http://www.peer-ricka.jp
医療法人あいクリニック	880-0879	宮崎市宮崎駅東1-6-7	0985-25-0085	0985-25-5882	http://www.ai-clinic.pro
医療法人社団静心会 近間クリニック	880-0031	宮崎市船塚1-2	0985-24-6662	0985-24-7008	
医療法人社団凌雲会 福永内科神経科医院	889-1607	宮崎郡清武町大字加納1-29-2	0985-85-6006	0985-55-0886	
医療法人芳明会 早稲田クリニック	880-0933	宮崎市大坪町西六月2197-1	0985-53-3030	0985-54-5151	http://www.houmei.or.jp
野田クリニック	882-0052	延岡市萩町52	0982-35-7789	0982-34-0085	
こころメンタルクリニック	880-0905	宮崎市中村西3-2-33	0985-55-1777	0985-55-1789	http://www.miyazaki-catv.ne.jp/~kogomentalclinic/
北野メンタルクリニック	880-0824	宮崎市大島町南窪814-4マルコービル105	0985-22-7588	0985-22-7587	
向陽の里診療所	880-1101	東諸郡国富町大字本庄1407	0985-75-7752	0985-75-2979	
医療法人ハートピア 細見クリニック	880-0001	宮崎市橘通西1-5-3	0985-35-1100	0985-38-1711	http://www.hosomicl.sakura.ne.jp
サザンクリニック	880-0912	宮崎市大字赤江830-1	0985-50-5771	0985-50-5663	
みずのメンタルクリニック	883-0041	日向市北町1-2	0982-50-0855	0982-57-3627	
医療法人聖心会 中村クリニック	880-0806	宮崎市広島1丁目17-21 ポレスターアーバンシティ広島1F	0985-32-7830	0985-32-7831	http://www.nakamura-cl.com/